

土木建設委員会 視察報告

期 日 平成 24 年 8 月 22 日～ 24 日

視察内容 「防災対策について」
「入札制度の実施状況について」



防災対策については、平成 23 年 9 月の台風 12 号の記録的な大雨で、田辺市にある関西電力（株）所有の発電専用の殿山ダムの水位を低下させたことで大きな被害に至らなかった。この教訓を受けて、和歌山県は、ダム所有者と治水対策の協定を締結することとなった。今回の研修を踏まえ、民間事業者にも防災対策についての責務を認識してもらうとともに、行政との連携を密にすることが市民、県民の生命財産を守るために、必要不可欠であると痛感した。

田辺市の入札制度の実施状況は、これまで 500 万円未満の工事は指名競争入札で行っていたが、今年度から原則条件付一般競争入札で行っている。この条件設定において笠間市との違いは、平成 17 年、5 市町村による合併で行政面積が広範囲になり、旧自治体の 5 地域に分類し運用している点である。その他、最低制限価格の設定は、入札会場においてその都度、入札参加業者の抽選で決定する制度を採用している。ダンピング受注の排除や入札執行の不正防止に効果があると考えられている。

研修議員 委員長：西山 猛、副委員長：鈴木 裕士
委員：市村 博之、委員：石崎 勝三

文教厚生委員会 視察報告

期 日 平成 24 年 10 月 22 日～ 24 日

視察内容 「地域医療を支え育てる条例について」
「休日夜間子ども救急センターについて」
「総合健康福祉センター（あいプラザ）について」
「小中学校一貫教育について」



今回の視察先の一つ広島県府中市立府中学園は、平成 15 年 6 月に「日本たばこ産業府中工場」跡地に 4 つの小学校を統合した新設小学校を設置し、さらに隣にあった中学校と小中一貫教育を導入するために建てられた小中一体型の学校です。また市内を 4 つのブロックに分け、連携型（小中が離れている）・一体型（小中が同じ敷地にある）・併用型（小中が隣接したり離れたりがある）により、府中市全体で小中一貫教育が実施されています。導入の理由は「中学校での不登校が増えているなか、改めて小中連携を充実させるため」「学力調査で、小 5 と中 2 で大きな開きが出る項目があったので、義務教育期間全体を通して学力の定着を図る必要があると考えた」と説明されました。保護者からも受け入れられ、いじめもなくなり、不登校も少なくなったと聞きました。茨城県でもつくば市が今年から小中一貫教育を導入していますが、当市でも小中学校の適正配置（統廃合）だけでなく、小中一貫教育も含めたこれからの笠間市としての義務教育の在り方について議論を深める必要性を感じました。

研修議員 委員長：石松 俊雄、副委員長：小磯 節子、委員：石田 安夫
委員：鈴木 貞夫、委員：萩原 瑞子、委員：中澤 猛